

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)ジャガーランドローバー広島新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境					0.40		-		2.8
1 音環境				2.6	0.15	3.0	1.00		2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.41	3.0	0.50		
1.2 遮音				3.0	0.41	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能				3.0	0.97	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.03	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.18		-		
2 温熱環境				2.6	0.35	3.0	1.00		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.51	3.0	0.63		
2 外皮性能				3.0	0.20	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.29		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				2.9	0.25	3.1	1.00		2.9
3.1 昼光利用				3.0	0.46	3.5	0.30		
1 昼光率		住居部:昼光率 1.80		-	-	4.0	0.50		
2 方位別開口					-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				2.0	0.06	3.0	0.30		
1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.03	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.45	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.0	0.25	2.7	1.00		3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.51	3.0	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.31	2.3	0.38		
1 換気量				3.0	0.49	3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	0.02	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.49	1.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.18		-		
1 CO ₂ の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御		ビル全体を喫煙とする		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.0
1 機能性				2.5	0.40	2.8	1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				1.0	0.02		-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.02	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画				1.0	0.96		-		
1.2 心理性・快適性				3.7	0.30	2.5	0.40		
1 広さ感・景観		SHOWROOM:CH=3500、事務室:CH=2800		4.0	0.29	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.29		-		
3 内装計画		ジャガーランドローバーのマニュアルに基づき、建物全体・内装計画を実施		4.0	0.42	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		内装・外装共に防汚性の高い素材を使用、極力段差のない設計		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用と		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.8	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり			4.6	0.26	4.6	0.50	
1 階高のゆとり			1~4F:4800 5F:5500 6・7F:3500 8F:4650	5.0	0.60	5.0	0.60
2 空間の形状・自由さ			2階:壁長さ比率 0.269 7階:壁長さ比率 0.274	4.0	0.40	4.0	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.26	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	0.47		-	
1 空調配管の更新性			PSを各所に配置,配管による施工	3.0	0.20		-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20		-
3 電気配線の更新性				5.0	0.10		-
4 通信配線の更新性				5.0	0.10		-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20		-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20		-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			景観計画重点地区(平和大通り沿道地区) 協議済	4.0	0.40	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.4	0.19	-	-	3.4
2 自然エネルギー利用			2.8	0.10	-	-	2.8
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm]: 0.87	2.7	0.51	-	2.7
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	0.88	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			2.0	0.12	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上げ材が分別可能,内装材と設備が錯綜していない	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			1.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が,一般的な建物と同等	3.4	0.33	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			燃焼器具を使用しない	5.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				1.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	
3 交通負荷抑制			駐車スペースの確保	4.0	0.33	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.33	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			「光害対策ガイドライン」のチェックリストを過半を満たしている	5.0	0.70	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	